Waseda Vision 150　芸術学校の将来構想の進捗状況報告

１．２０１７年度報告

１．新カリキュラム策定・移行

芸術学校が掲げる「総合芸術としての建築」の理念を具現化するため、建築デザイン・芸術表現中心の新カリキュラムへの 2018 年度移行に向け、2017 年度はそのカリキュラム内容を確定し、移行に必要な準備を進めた。

（１）コンセプトは“ASSEMBLE”

新カリキュラムでは、建築を中心にしたインテリア、ID、ランドスケープ、グラフィック、写真等視覚空間に関する領域にまで取り扱う範囲を拡充し、従来の工学分野に属する建築教育とは一線を画する独自性の高いカリキュラムへの脱皮を図ることを目指し、「建築とはすべての環境をデザインするもの」という考え方から“ASSEMBLE”（アセンブル＝多様な領域を集合し組み立てること）を新たなコンセプトとして設定した。

（２）AA Design Matrix による教育テーマの設定

新カリキュラムにおいて設定する教育デーマを図化した「AA Design Matrix（デザイン・マトリックス）」を新たに策定した（次ページ図参照）。横軸の「環境パターン」（景観・形態・空間）と縦軸の「デザイン手法」（再生・創造・再編）からなるマトリックス（3×3）に設定される９つの教育テーマが、デザインを取り巻く様々な今日的社会問題との対応や具体的な職能を示すことにより、将来学生が希望する職業や職能を見据えた体系的な学修の指針を与えるものとした。

（３）“ASSEMBLE”を実践と理論両面から具現化する新たな科目群

これらの職業や職能に必要な実践的教育を行う新設科目として、商環境デザイン、インテリア、家具等多様な空間デザイン分野を扱う「空間設計計画」、都市デザイン、ランドスケープ等の領域を主なテーマとする「景観設計計画」を、また、理論的な面からは、歴史、文化、都市マネジメント、アート、グラフィック、エディトリアル等建築を取り巻く社会・芸術分野の第一線で活躍する建築家、研究者、デザイナー、評論家を講師に迎えて連続講義を行う「アセンブルデザイン特論」を 2018 年度より開講することが決定し、学生の幅広い興味や関心に応えるためだけでなく、多彩で個性的な人材を育成するための教育プログラムの構築を進めた。

２．大学院進学プログラム策定

近年の芸術学校生の大学院進学志向の高まりに対応するため、芸術学校における教育から大学院レベルへの円滑な接続を目的とした大学院（他大学含む）への進学希望者を対象とした支援プログラムについて、2017 年度は新カリキュラム策定の一環としてその内容の検討を行った。

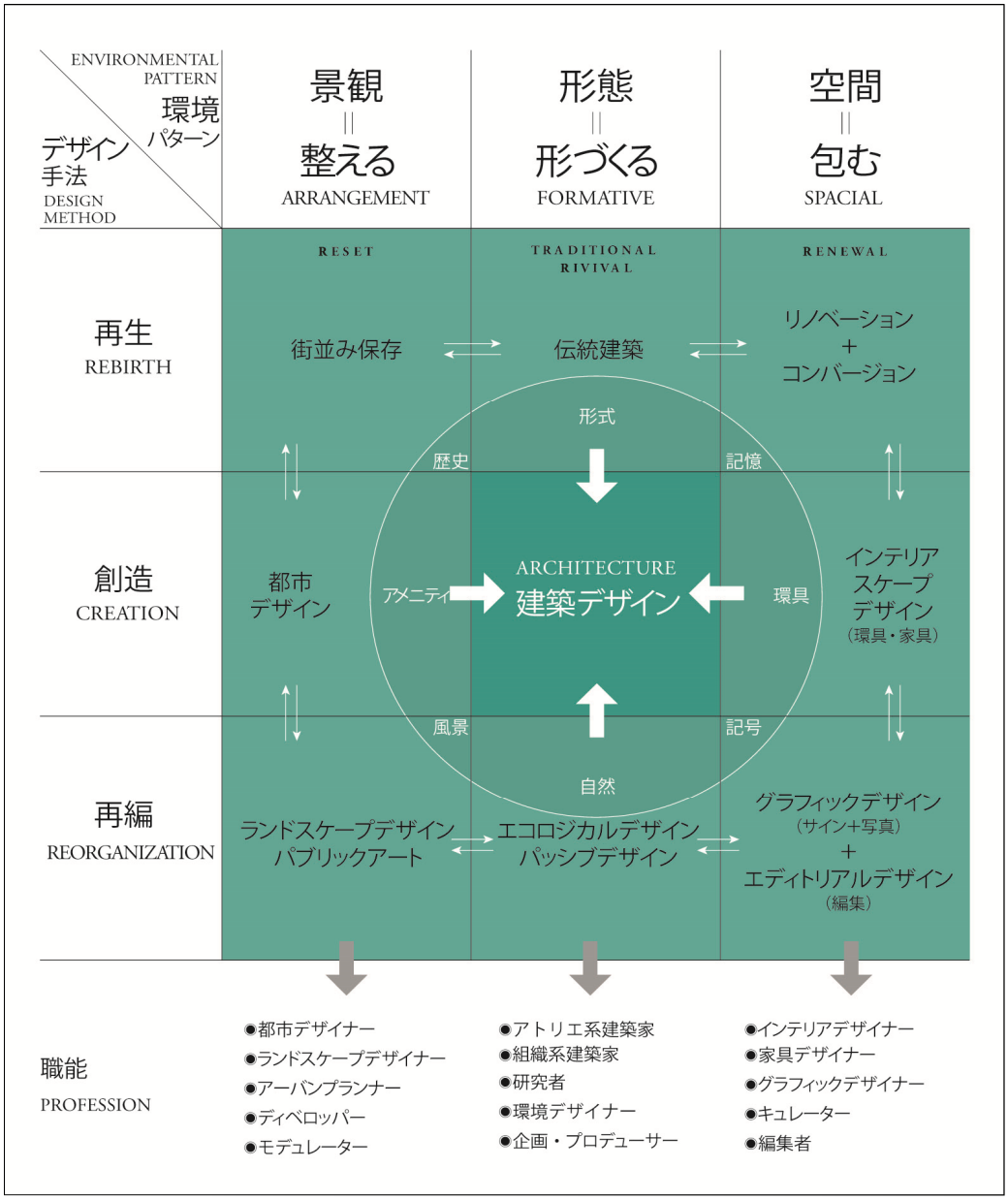
３．広報戦略推進

より多くの優れた入学者の確保を目的として、１）ウェブ媒体の広報強化およびその他有効な広報媒体に関するリサーチ、２）昨年度に引き続き人間科学部生を対象とした所沢キャンパスにおける出張型学校説明会の実施、３）建築・デザイン関連組織等をターゲットとした重点的アプローチの実行等を通して芸術学校の知名度とプレゼンスの向上に努めた結果、2018 年度入学者（編入学者含む）が前年度に比べ増加した。

4．新カリキュラムを実現するための指導体制整備

2018 年度の新カリキュラム移行および大学院進学支援プログラム開設に向け、専任教員および任期付教員を中心とした指導体制や役割分担の見直しを進めた。

AA Design Matrix（デザイン・マトリックス）



２．２０１８年度計画

１．新カリキュラムの安定的運用の実現

新カリキュラム初年度となる 2018 年度は、新たなカリキュラムの円滑な始動と安定的な運用を実現する。また、そのプロセスにおいて試行錯誤と改善を重ねるとともに、年度終了後にはカリキュラム運用状況を踏まえた検証を行い、教育内容や教育方法のさらなる充実を目指す。

２．広報・学生募集活動推進

学校説明会、各種体験イベント（製図体験レクチャー、建築模型製作ワークショップ）等従来からの広報・学生募集に関する取り組みのさらなる充実を図るとともに、本校ホームページや SNS による入学希望者のニーズを踏まえた情報発信、外部求人サイト等を活用した学生募集活動を継続的に推進する。また、有効な広報媒体や広報手段を新たに開拓し展開することにより、芸術学校の知名度とプレゼンスの向上を図り、2019 年度入学志願者および入学者増を目指す。

３．学内外における連携体制構築

芸術学校とのダブルスクールを希望する本学学部生の掘り起し、本学大学院への進学を希望する芸術学校生の進学ルート拡充等に向け、各学術院（学部、研究科）との協力・連携体制の構築を積極的に働きかける。また、学生リクルーティング拡大を目的とした建築・デザイン関連の企業や団体等への広報活動や協力要請を行うほか、企業や団体からの寄附等による外部資金獲得についても積極的に推進する。

４．今後の中長期計画検討

Waseda Vision150 芸術学校の将来構想において、当面の目標であった建築デザイン・芸術表現中心の新カリキュラムへの移行が実現したことに伴い、高度建築家養成機関の実現を目指す芸術学校が次に目指すべき方向性や取り組むべき事業について箇所内で議論を開始するとともに、今年 11 月の新理事会発足後の動向も見据えつつ、新たな中長期的計画策定に着手する。

以　上